

26年度 自立支援協議会 議事録

会議	部会名	第1回 権利擁護 部会	参加者数	21人	会場	福祉まちづくりセンター 2階 大会議室
	日時	26年 7月 10日(木) 14:00 ~ 16:00				
主 テ ー マ	<ol style="list-style-type: none"> 1 今年度の活動方針について 2 最近の権利擁護の動向についての学習 ~ 障害者差別解消法と改正精神保健福祉法について ~ 3 精神科病床を居住系施設に転換する動きについて ~ 問題提起と意見交換 ~ 					
主 な 意 見 な ど	<ol style="list-style-type: none"> 1 について(矢沢部会長より) <ul style="list-style-type: none"> ・圏域の権利擁護に関連して、引き続き、さまざまな課題や問題把握、データ収集を行っていく。具体的には、当事者の生の声をきいたり、行政や事業所等も含めたアンケート調査を実施していきたい。 ・事例検討などを通して、権利擁護に関する事例集のようなものを作成していきたい。 ・法改正など、権利擁護に関連する動きについて、学習を深め、情報共有を図っていきたい。 2 について <ol style="list-style-type: none"> (1) 障害者差別解消法の概要について(矢沢部会長より) <ul style="list-style-type: none"> 昨年度制定された同法について、ポイントを確認した後、Q&A集をもとに理解を深めた。 ・障害者基本法第4条を具体化したもので、施行日は平成28年4月1日。 ・差別的取扱いの禁止や合理的配慮の不提供の禁止などが定められている。 ・難病者や障がい児、子どもの障がいを理由に不当な差別的取扱いを受けた親も対象となる。 ・個々の事例に即して判断されるものであり、声を上げていかないと差別解消にはつながらない。等。 (2) 改正精神保健福祉法の概要について(矢沢部会長より) <ul style="list-style-type: none"> 平成26年4月1日より施行された改正法について、資料をもとに、ポイントをおさえながら学習した。 ・保護者制度の廃止と医療保護入院の見直しを中心に、説明が行われた。 ・圏域内の医療機関における医療保護入院への実際の対応について、担当者から現状と課題についての報告もあった。 3 について <ol style="list-style-type: none"> (1) 問題提起(きらりあ 矢野・高橋より) <ul style="list-style-type: none"> 長期入院している精神障がい者の権利擁護の観点から、きらりあ矢野より問題提起を行い、続いて、この問題に対する当事者団体の動き等について、高橋より当事者の立場から補足説明を行った。 ・精神科病床を削減して地域移行を進める中で、空いたベッドをそのまま居住施設として活用することが可能という提言が出された。これは地域で暮らすという当たり前の権利を侵害しているのではないか。 ・当事者団体からも反対の声が上がっており、緊急集会や抗議声明も出されている。 (2) 意見交換(参加者全員) <ul style="list-style-type: none"> 2つのグループごとに、問題提起を受けてのそれぞれの思いや感想などを話し合った。 ・私立の精神科病院の経営問題、政府・当事者双方の意見をきいて客観的に考える必要性、検討会には、当事者が例えば3分の1以上参加するシステムの構築が必要ではないかといった意見が出された。 ・出生前診断での命の選別問題、障がい者を取り上げるマスコミ報道のあり方、地域住民の障がい者を見る目など、広く障がい者を取り巻く差別や偏見について触れる発言もあった。 (3) 今後について <ul style="list-style-type: none"> 意見交換を踏まえ、部会として、この問題を県の自立支援協議会へ提起していきたいとの提案が、矢沢部会長からあり、拍手をもって承認された。 ・精神障害者地域生活推進部会とも連携しながら、提起の方法等、事務局で詰めていくこととなった。 <p>事例検討については、時間が不足したため、次回以降に改めて行う予定である。</p> 					
ま と め	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の活動方針を確認し、権利擁護をめぐる法改正の動向について学びを深めることができた。 ・精神科病床をめぐる問題提起と意見交換を通して、権利擁護を具体的に考え、部会として県の自立支援協議会へ課題提起する方向で取り組む方針を確認することができた。 					
次 回	<ul style="list-style-type: none"> ・詳細については、後日お知らせする。 					

26年度 自立支援協議会議事録

会議	部会名	第2回 権利擁護 部会	参加者数	32人	会場	福祉まちづくりセンター 2階 大会議室
	日時	26年10月20日(月) 15:00 ~ 17:15				
主 テ マ	<p>1 改正精神保健福祉法と精神科病床の居住施設転換をめぐる動きについて</p> <p>2 障害者差別解消法における合理的配慮 ~ 環境面のバリアフリーを当事者からの発信をもとに考える ~</p> <p>3 その他・諸連絡</p>					
主 な 意 見 な ど	<p>1 について</p> <p>(1) 法改正による国・県の現在の動きについて(長野県障がい者支援課 大井氏より)</p> <p>精神科病床の居住施設転換をめぐる動きについて、精神保健福祉法改正と合わせて再度学習を行った。 ・法改正を受け、国から長期入院精神障がい者の地域移行に向けた報告書が出されているが、地域移行後の地域生活充実を図る目的でまとめられており、あくまで1案として病床転換という方法もあるとしている。 ・当事者会等からは、標記問題を受け、議会請願が出され、採択されたことは、県としても承知している。 ・平成27年度厚生労働省概算要求事業の中には、標記事業の推進体制検証事業費も計上されているが、これ以上の情報は県も把握していないため、国の動向を注視しつつ今後、県の方向性も考えていく。</p> <p>(2) 県内の当事者会等の動きについて(きらりあ 矢野相談支援専門員より)</p> <p>・県内の精神障がい者や支援者らでつくる「精神障がい者も病院ではなく地域で暮らしたい信州ネットワーク」が、標記問題を提起した署名活動を行い、9/24に、県に対して陳情・請願を行った。 ・10/14の県議会健康福祉委員会において、請願は全会一致で採択され、現在に至っている。</p> <p>2 について</p> <p>(1) 当事者からの意見発表</p> <p>居宅介護支援を受けながら一人暮らしをしている身体障がい当事者から、外出時の電動車いすでの移動に係る問題点を現場のスライドなども映しながら、具体的な体験を交えてお話いただいた。 ・車歩道の段差が大きく衝撃がかかる ・洒落た石畳の歩道が経年劣化で凸凹になり振動が大きい ・歩道の傾斜の大きい所やマンホールが飛び出た箇所が危険(視覚障がい者も同じ) ・マンホールの浮き上がりと段差で実際に転倒したこともある 車いすのタイヤが通る部分だけ段差を平らに削ってある「ユニバーサルデザインブロック」が設置された箇所もある。現存する段差もタイヤが通る部分を削って安全に通れるようにしてほしい。</p> <p>(2) 意見交換(参加者全員)</p> <p>3グループに分かれ、問題提起を受けての気づきや感想及び合理的配慮として何が考えられるかを話し合い、最後に太田弁護士より法律的観点からみた合理的配慮について解説していただいた。</p> <p>ア 環境面のバリアフリーについての気づきや意見交換</p> <p>・普段気づかないことに気づかされた。車いすの人を街中で見かけないのは危険だからかもしれない。 ・障がい者だけの問題ではない。障がい者に優しい社会は全ての人にとって優しい社会。 など</p> <p>イ 合理的配慮の方法として何が考えられるか</p> <p>・議員さんへの問題提起や行政機関との連携、福祉教育の充実、車いす体験等ソフト面の充実、権利擁護部会のさらなる有効活用、住民への啓発活動、みんなで考えるまちづくりの必要性など、多方面からさまざまなアイデアが出された。</p> <p>1・2については、今後も部会として動向を見守り、また検討を続けていくこととなった。</p> <p>3 について</p> <p>権利擁護に関わる各種研修会等のお知らせがあった。</p> <p>・「障がい者虐待防止・権利擁護研修」 H27.1.27(火) 飯島町文化館にて ・「成年後見セミナー」 H26.11.26(水) 宮田村民会館にて ・「上伊那圏域福祉フォーラム」 H26.11.15(土) 中川文化センターにて</p>					
ま と め	<p>・精神科病床をめぐる問題について、最新の国・県の動向及び当事者会等の動きについて学びを深めた。</p> <p>・当事者からの問題提起を受け、環境面でのバリアフリーのあり方についてみなで検討することができた。</p>					
次 回	<p>・詳細については、後日お知らせする。</p>					

26年度 自立支援協議会議事録

会議	部会名	第3回 権利擁護 部会	参加者数	26人	会場	伊那市福祉まちづくりセンター 2階 大会議室
	日時	27年 3月 9日(月) 13:30 ~ 15:30				
主 題 マ	<ol style="list-style-type: none"> 1 当事者からの発信を受けて ~その後の動きなどについて~ 2 今年度の各市町村虐待防止センターの動きや現状について 3 その他 					
主 な 意 見 な ど	<ol style="list-style-type: none"> 1 について <ol style="list-style-type: none"> (1) 精神科病床の居住施設転換問題をめぐる動きについて(きらりあ 矢野・高橋) <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの経緯と、前回部会以降の主だった動き(省令改正等)について、当事者から説明があった。 ・合わせて諸外国における脱施設化の取組みの一端(フィンランド・ベルギーの事例等)が紹介された。 ・今後も権利擁護の視点から、気になる動き等があれば引き続き部会でも扱っていくことが確認された。 (2) 障害者差別解消法における合理的配慮という面からの当事者発信を受けて(きらりあ 志賀) <ul style="list-style-type: none"> ・当事者から、道路の段差問題を提起したところ、当該市町村で速やかに対応(改修)していただいた。 ・理想的な道路として紹介された県道は、ハートビル法や長野県福祉のまちづくり条例に基づき整備されたものだが、条例制定前に整備した県道については、段差等が残っている箇所もあるのが現状である。 ・行政とも話し合いを進め、今後、車いす乗車体験を段差のある現場で行う方向で、調整が進んでいる。 ・当事者の思いが行政を動かした事例であり、車いす体験の様子等、改めて報告いただく予定。 2 について <ol style="list-style-type: none"> (1) 今年度の虐待通報・相談の概要について(各市町村虐待防止センター担当者より) <ul style="list-style-type: none"> ・圏域内にある8市町村担当者より、今年度の虐待通報や相談の様子について、報告があった。 ・通報・相談件数は少なめだが、担当者として対応が難しいと感じる事例も寄せられていることが分かった。 (2) 虐待通報・相談の概要を踏まえてのグループ討議(参加者全員) <ul style="list-style-type: none"> ・1グループ7~8人、計3グループに分かれて実施。 ・市町村担当者から出された判断・対応が難しいとされた4つの事例について、虐待防止と権利擁護の観点からグループ討議を行った。(各グループ1~2事例について、討議を行った) ・最後に各グループの話し合いの要点を全体へフィードバックし、部会長よりコメントとまとめが行われた。 3 について <ol style="list-style-type: none"> (1) 県障がい者虐待防止・権利擁護研修報告(きらりあ 志賀より) <ul style="list-style-type: none"> ・H27.1.27(火) 飯島町文化館にて、事業所を対象とする標記研修会が開催された。 ・午前は、県の障がい者虐待防止推進員 勝山氏の講義、午後は実際に虐待事例が起きた場合の対応を仮想事例に基づいて、グループワーク形式で検討し、学びを深めた。 (2) 県自立支援協議会権利擁護部会活動報告(きらりあ 志賀より) <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は年4回開催された。主な内容は、次のとおり。 <li style="display: flex; justify-content: space-between;"> 第1回 今年度の活動計画等の検討 第2回 成年後見センターの方々との懇談 <li style="display: flex; justify-content: space-between;"> 第3回 障害者差別解消法等の学習会 第4回 各圏域における虐待案件の検証 など (3) 今年度のまとめと来年度に向けて(事務局より) <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、当事者の声の収集、権利擁護事例の検討、学習と啓発活動を中心に活動してきた。 ・来年度も、この3つをメインに、特に は、事例集の作成等も視野に入れ活動していけたらと考えている。 ・来年度の活動に対するご意見・ご要望等があれば、事務局(きらりあ)までお知らせください。 					
ま と め	<ul style="list-style-type: none"> ・当事者から発信された課題のその後の動きや虐待防止研修等についての情報共有を図ることができた。 ・圏域における虐待案件に対する理解を深め、判断・対応が難しい事例を皆で検討することができた。 ・今年度のまとめと来年度の方向性を皆で確認することができた。 					
次 回	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は3回の部会を開催してきた。多くのおみなさんのご参加、ありがとうございました。 ・来年度も引き続き積極的なご参加をよろしくお願いいたします。 					